

きずな

新しい事業を始めました！

保護施設通所事業

支援課長 野崎 浩司
 保護施設通所事業は、賀光寮を退所して自立生活される方が、日中、賀光寮に通所し、作業などを行い、日中活動を充実させる「通所訓練」



と、同じく賀光寮を退所して自立生活されている方の居宅へ職員が訪問し、生活上の課題や悩みなどを相談する「訪問指導」の2つがあります。なお、一人で「通所訓練」「訪問指導」の両方を利用することもできます。

現在「通所訓練」は、2人の方が花づくりや環境整備の作業をされています。夏にはゴーヤカーテンを作った温



暖化防止に努めました。また「訪問指導」は、3人の方が利用され、職員が生活上の困った事

平成27年 第45号
 社会福祉法人 賀光会
 救護施設 賀光寮
 障害福祉サービス事業所
 (生活介護) **ポプラ**
 発行人：川端 健高
 藤井寺市藤井寺4-11-8
 TEL 072-955-0653
 FAX 072-955-0905
 E-mail : gakoukai@m5.kcn.ne.jp
 http://www5.kcn.ne.jp/~gakoukai

古墳ってお墓なんだ・・・

ポプラ外出体験

支援員 中山 和紀
 6月25日(木)に外出体験を実施しました。行き先は古墳巡りという事で応神天皇陵古墳と白鳥陵古墳に行きました。古墳へ行く前に腹ごしらえで肉料理さかもとへ。各人食べたいものを注文し、お腹も膨れ、いざ応神天皇陵古墳へ！古墳に着くと、大きな古墳が目の前に！皆で集合写真を撮り大満足！！その後、白鳥陵古墳は車内から見学。普段住んでいる

身近な所に大きな古墳があるが、見学したことがない利用者が多く、「古墳巡りをしてよかつたわ」という声が多かったです。



賀光会バザール開催します

日時：平成27年10月12日(月・祝)
 AM10時～PM2時
 場所：賀光会敷地内 (雨天決行)

模擬店(予定)

- ・たこ焼き・フランクフルト・焼きそば
- ・おにぎり・唐揚げ・ジュース・当て物
- ・フリーマーケット・ヨーヨー釣り
- ・お茶席・草花などの販売
- ・コップ、皿などの販売・雑巾などの販売
- ・手作りお菓子の販売・和小物などの販売

アトラクション(予定)

- ・和太鼓・沖縄民謡
- ・よさこい踊り・腹話術・ピンゴ大会



【平成27年度賀光寮事業計画 抜粋】
賀光寮は、救護施設への種別変更後6年目となります。

現在、社会福祉法人の地域貢献が社会から求められ、また、今年度は生活困窮者自立支援法が施行され、賀光寮の施設福祉サービスも、今後さらに地域の生活困窮者への支援に貢献することが求められております。

また、運営方針に基づいて安心できるサービスを安定的に提供するとともに、社会ニーズに応えるため、昨年度から実施している居宅生活訓練事業に加え、保護施設通所事業を実施し、中間的就労などの生活困窮者自立支援法に関する事業について実施を前提として検討し、大阪府社会福祉協議会の生計困難者支援にオール大阪の社会福祉法人の一員として参画し地域福祉に貢献してまいります。

〈運営方針〉

- I 総合的な福祉サービスの提供
- II 法令遵守
- III 専門性の向上
- IV 経営の安定、透明化
- V 地域共生と啓発

【平成26年度賀光寮事業報告 抜粋】
平成26年度は、運営方針「①総合的な福祉サービスの提供」「②法令遵守」「③専門性の向上」「④経営の安定、透明化」

「⑤地域共生と啓発」に基づき、障害者施設としての長年の経験と救護施設としての実績を生かし、利用者へのサービスを実施してまいりました。具体的な内容としては、以下のとおりです。

利用者の個別支援計画と利用者自治会での意見や個別の意向を尊重し、利用者の主体性を大切にし、日常的な作業、通院、生活支援を中心に生活相談、作業療法、各種行事や娯楽活動などの支援を実施しました。

賀友会(利用者の自治会)で毎月の定例会議を開催し、年間の行事の実施や食事、健康管理、生活などの課題や要望などについて話し合い、利用者の意見を行事などに反映してまいりました。また食事にしても、給食委員会議において、賀友会の意見を取り入れ、季節を感じ、美味しく食事をしていただけようイベント食などで献立に変化をつけました。

万博公園と大阪城の2コースに分かれて実施しました。

日帰り旅行は、11月あべのハルカスと箕面温泉に分かれて実施しました。救護施設合同文化事業では、参加希望者で合唱の発表を行いました。健康管理として11月にインフルエンザ予防接種、9月と3月に健康診断を実施し、感染症対策に努めました。また通院受診と服薬管理の支援を行いました。

平成26年度の利用状況は7人入所され、6人退所されました。7人の入所のうち4人は地域で緊急の入所が必要な方で、一時入所を利用されました。

居宅生活訓練事業は3人の方が利用され、3月31日で終了されました。

地域交流としては、賀光会バザール、もちつき大会、南藤井寺ふれあいまつり、陶芸教室を実施し、ボランティアとして353人の方々にお手伝いいただきました。社会福祉現場実習生を四天王寺大学から4人受け入れました。

防災訓練を2回実施し、震災等の避難場所として地域貢献するため備品、食料などの準備を行いました。

<p>【平成27年度ポプラ事業計画 抜粋】 障害者総合支援法による指定生活介護事業所「ポプラ」は、開設後、6年目になります。 平成27年度は、法人の理念、基本方針に基づき、利用者の個性を尊重し、利用者と職員それぞれが自分自身を磨き、一人ひとりが輝き潤いのある生活を実現できるよう、日中活動の充実と安定した経営を第一の課題として、質の高いサービス提供と事業運営に努めてまいります。</p>	<p>【平成26年度ポプラ事業報告 抜粋】 平成26年度は、運営方針「①総合的な福祉サービスの提供」「②豊かで輝きのある生活の実現」「③安心、安全な支援と管理」「④専門性の向上」「⑤経営の安定」「⑥地域との共生」に基づき、利用者の充足を図り、より安定した経営を第一の課題として努め、さらに、利用者と職員それぞれが自分自身を磨き、利用者の個性を尊重し、一人ひとり輝き潤いのある生活の実現をめざして、安全・安心・安定した質の高いサービス提供と事業運営に努めてまいりました。具体的内容としては、以下のとおりです。</p>	<p>され、送迎を始めました。 社会体験・余暇活動（レクリエーション）として、春に、ケンタッキーや、肉料理「さかもと」、お好み焼き「偶」で昼食を食べました。また、秋には、神戸アンパンマンミュージアムを見学、あべのハルカス展望台の見学の2コースに分かれて実施しました。また、藤井寺市民体育館で開催された事業所（藤井寺市内の7事業所）対抗運動会に参加しました。</p>
<p>さらには、大阪府社会福祉協議会の生計困難者支援にオール大阪の社会福祉法人の一員として参画し地域福祉に貢献してまいります。</p> <p>〈運営方針〉</p> <p>I 総合的な福祉サービスの提供 II 喜びを実感できる生活の実現 III 安心、安全な支援と管理 IV 専門性の向上 V 経営の安定 VI 地域との共生</p>	<p>利用者の同意により作成した個別支援計画と、利用者自治会での意見や個別の意向を尊重し、利用者の主体性を大切にして生産活動、創作活動、クラブ活動、また社会学習、作業療法、生活相談、各種行事や娯楽活動等の支援を実施しました。</p> <p>利用者・保護者・職員の交流を図るため保護者会を3回実施しました。送迎に關しては、今年度は新たに、1人の利用者が自宅から事業所までの送迎を希望</p>	<p>平成26年度の利用者状況は、4月に1人が退所され、7月に1人が入所されました。また、支援学校等から見学や体験を受け入れ、平成27年4月からは新規利用者3人が利用契約をして通所されることになりました。</p> <p>地域交流として、賀光会バザールやもちつき大会、陶芸クラブの実施時に、ボランティアを延べ125人受け入れました。その他、八尾支援学校東校・藤井寺支援学校・富田林支援学校から体験実習の受け入れ、四天王寺大学からは、介護体験の実習生を受け入れ、藤井寺市立第三中学校の生徒の職場体験を受け入れました。</p>

【平成26年度 社会福祉法人 賀光会 決算報告】

貸借対照表

(平成27年3月31日)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	62,177	流動負債	11,379
現金預金	41,096	事業未払金	10,936
未収金	20,652	預り金	54
貯蔵品	113	職員預り金	389
立替金	273	仮受金	0
前払金	0	固定負債	5,523
仮払金	43	退職給付引当金	5,523
固定資産	358,907		
基本財産	198,329		
土地	4,469		
建物	173,860		
定期預金	20,000		
その他の固定資産	160,578		
建物	146		
建物附属設備	18,019		
建築物	2,518		
車両運搬具	5,339		
器具及び備品	8,792		
権利	577		
ソフトウェア	122		
退職共済預け金	4,992		
人件費積立資産	25,000		
施設整備等積立資産	95,000		
その他の固定資産	73		
資産合計	421,085	負債合計	16,902
		純資産の部	
		基本金	113,972
		国庫補助金等特別積立金	128,123
		その他の積立金	120,000
		次期繰越活動増減差額	42,088
		純資産合計	404,183
		負債及び純資産合計	421,085

資金収支計算書

〔自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日〕

(単位：千円)

科 目	金 額
事業活動収入計	205,572
事業活動支出計	186,877
事業活動資金収支差額	18,695
施設整備等収入計	2,000
施設整備等支出計	7,591
施設整備等資金収支差額	△5,591
その他活動収入計	4,692
その他活動支出計	20,916
その他の活動資金収支差額	△16,224
当期資金収支差額合計	△3,120
前期末支払資金残高	53,919
当期末支払資金残高	50,799

事業活動計算書

〔自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日〕

(単位：千円)

科 目	金 額
サービス活動収益計	188,871
サービス活動費用計	188,169
サービス活動増減差額	702
サービス活動外収益計	2,188
サービス活動外費用計	966
サービス活動外増減差額	1,222
経常増減差額	1,924
特別収益計	18
特別費用計	38
特別増減差額	△20
当期活動増減差額	1,904
前期繰越活動増減差額	84,972
当期末繰越活動増減差額	86,876
基本金取崩額	0
その他積立金取崩額	0
その他積立金積立額	40,000
次期繰越活動増減差額	46,876